

注釈と受容——『遊仙窟』を中心として——

平成25年8月24日(土)～平成25年8月26日(月)

一般参加の方、事前申込不要・研究者の方、事前申込要

◎第1部 「日中比較文学研究フォーラム」

〔公開講演会〕(無料) 館内展示の観覧には別途入館料が必要です

平成25年8月24日(土)14時～16時 (於奈良県立万葉文化館 受付13時～)

中国に於ける『遊仙窟』研究の回顧と展望

講師 南京大学文学院域外漢籍研究所副教授 金 程宇

※講演は日本語でおこなわれます

〔シンポジウム〕『遊仙窟』の注釈と受容 (無料)

平成25年8月25日(日)10時～17時 (於奈良女子大学 北棟202教室)

中国文学—遊仙窟注—

国語学—訓点語—

上代文学—萬葉集—

中古文学—源氏物語—

中世文学—太平記—

近世・近代文学—幸田露伴—

コメンテーター

コーディネーター

花園大学教授

奈良女子大学准教授

奈良女子大学准教授

京都女子大学教授

南山大学講師

神戸松蔭女子学院大学教授

南京大学文学院域外漢籍研究所副教授

奈良女子大学准教授

衣川 賢次

尾山 慎

奥村 和美

新聞 一美

森田 貴之

青木 稔弥

金 程宇

奥村 和美

◎第2部

〔若手研究発表会〕(無料)

平成25年8月26日(月)10時～16時 (於奈良女子大学 北棟202教室)

『今昔物語集』卷十二と『三国遺事』「塔像」の造塔譚をめぐって

和語「けぶり」の表現について—漢詩文の「煙」との関わりに着目して—

酒吞童子説話の成立について—大陸要素の取り入れを中心に—

源氏物語古注釈における遊仙窟

近世期における『遊仙窟』の利用—『南総里見八犬伝』を中心に—

東京大学大学院生

梅花女子大学非常勤講師

京都大学大学院生

京都大学大学院生

崔 静仁

王 秀梅

白 溪

梅田千佳

奈良女子大学タンパク質考古学創成事業本部研究支援推進員 的場美帆

申込先：奈良女子大学古代学学術研究センター 若手研究者支援事業担当
〒630-8506 奈良市北魚屋東町 奈良女子大学コラボレーションセンター205号室
Tel.0742(20)3779 E-mail:kodaigaku@cc.nara-wu.ac.jp

主催：奈良女子大学古代学学術研究センター 共催：奈良県立万葉文化館